



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社トスネット  
代表者 代表取締役社長 氏家 仁  
(コード：4754東証スタンダード)  
問合せ先 代表取締役専務兼管理統轄本部長 佐藤 雅彦  
電話番号 022-299-5761

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、自社の資本コストや株価についての現状を分析・評価し、改善に向けた方針を、2025年2月14日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

当社のPBRは0.7~0.8倍程度を推移しており、投資家の期待にお応えできていない状況であると認識しております。当社の資本コストを複数の方法を用いて試算及び分析を行い、取締役会で改善に向けた議論を行っております。

	単位	2020/9期	2021/9期	2022/9月期	2023/9期	2024/9期
連結売上高	百万円	9,948	9,918	10,030	10,937	11,559
連結営業利益	百万円	431	742	690	797	817
当期純利益	百万円	321	564	498	576	891
1株当たり 純資産額	円	1,233	1,334	1,412	1,522	1,685
ROE	%	5.6%	9.3%	7.7%	8.3%	11.8%
PER	倍	13.96	7.87	7.99	10.81	6.67
株価(終値)	円	949	939	843	1319	1,259
PBR	倍	0.77	0.70	0.60	0.87	0.75

当社の資本コストについては、CAPM(資本資産価格モデル)にて5%程度と算出されますが、時価総額を鑑みて一定の流動性リスクを考慮し、8%程度と試算しております。また、過去3年平均のROEは9.27%、PBRは0.74倍であったことを総合的に検討し、当社の資本コ

ストは8%~10%程度であると推測しております。

## 2. 改善に向けた方針

当社の資本コスト試算を念頭に、ROEを重要指数として認識して、中期経営計画 VISION for 50 (Step.2) において、改善に取り組んでまいります。併せて、資本コストの低減を図ってまいります。目標とすべきROEは10%水準です。

## 3. 具体的な取り組み

### (ア) 成長戦略の実行

- ① 既存事業の収益性向上を図るべく、ソリューション型営業と高付加価値サービスを展開し、適正な価格転嫁と生産性の向上を図る。
- ② AIやIoT技術を積極的に取り入れ、既存業務の効率化とともに、新たな「事業領域」と新たな「事業機会」を創造する。
- ③ 既存事業の成長性を見極め取捨選択し、成長分野への投資を図る。

### (イ) 人的資本への投資

- ① 確かな事業技術の習得とサービス品質向上のために、事業別訓練の充実を図る。
- ② 各種事業関連資格取得の奨励と共に、受講者への事前教育や費用の助成支援を更に強化し、防災士資格を推奨、地域防災減災に貢献できる人材育成を目指す。

### (ウ) 成長投資

- ① 積極的なM&Aの実施により、事業領域の拡大と新規事業の進出により、既存業務とのシナジー効果の拡大を目指す。
- ② ITシステムに投資し、業務改善及び効率化を推進することにより、生産性の向上を図る。

### (エ) 資本コストの低減への取り組み

- ① 流動性を向上させるため、個人投資家向けIRを強化し、説明会の開催及び、ウェブや開示資料を充実させる。
- ② 取締役・監査役に必要な知識の習得や適切な更新等の研鑽のため、役員トレーニングを継続する。
- ③ 取締役会の実効性評価を実施し、分析・評価を行うことなどにより、その機能の向上を図る。

以上